

令和3年度「鹿児島大学進取の精神チャレンジプログラム」募集要項

1. 進取の精神チャレンジプログラムとは

本プログラムは、鹿児島大学学生憲章（平成22年11月15日制定）の趣旨に則り、学生自らが企画・運営・実施する様々な活動の支援を通じて困難な課題に果敢に挑戦し、実践していくことによって鹿児島大学（以下「本学」という。）における進取の精神の継承・発展を目的としています。

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大の状況を鑑みて残念ながら中止としましたが、今年度は、コロナ禍においても学生である皆さんの創意工夫やアイデアがあれば様々な活動を実施できると考え、プログラムを募集することとしました。感染対策を十分に施した上で、この社会変化をチャンスと捉えて、コロナ禍だからこそできる新たな企画や活動を本プログラムに応募してみませんか。

採択されたプログラムには予算の範囲内で支援します。皆さんの積極的なチャレンジを期待します。

2. 募集企画

以下のような取組をこのコロナ禍の中でどう工夫して実現できるかを含めて検討してください。

〈一般部門〉

募集テーマ	内 容
ウィズコロナにおける鹿児島大学活性化！	【大学の活性化】 (例) ・学内の環境改善（美化）活動 ・学内資源の利用促進活動 ・コロナ禍を経た大学情報の発信 ・障がい学生の支援 ・大学グッズの開発 など 【国際交流】 (例) ・留学生との共同研究活動 など

〈地方創生活動部門〉

募集テーマ	内 容
オンラインで繋がる地方創生！	【鹿児島県内自治体の地域課題】 (例) ・魅力ある観光資源の発掘とPR戦略の提言 ・商店街の賑わい創出への支援 など 【鹿児島県内企業等の課題】 (例) ・製品の販売戦略の提言 など

※採択件数は、「一般部門」5件程度、「地方創生活動部門」5件程度を予定しています。

(参考) 採択プログラム一覧

平成30年度

〈一般部門〉

- ・ハイブリッドロケットの開発
- ・鹿児島在住外国人への歯科検診ボランティアプロジェクト
- ・ARによる建築模型の共有とプレゼンテーション
- ・深度センサー付きカメラを用いたロボットの自己位置推定システムの開発
- ・TSUNAGUツアーで自分を知る旅に出かけよう
- ・ウミガメ保全調査活動への関心を高めるための写真展

〈地方創生活動部門〉

- ・WEBの力で地域・学生・大学をつなぐ！
- ・八重山高原星物語2018
- ・未来を繋げ！鹿児島大学医療系学生発『こどもむりょう塾』
- ・キャッサバを活用した徳之島の地域住民と学生による地域活性化プログラム

令和元年度

〈一般部門〉

- ・金で菌を検出！～安心して鳥刺しを食べてもらおう！～
- ・演奏旅行～吹奏楽でつなぐ離島と鹿児島大学～
- ・鹿児島の水産業の魅力発信
- ・ぬいぐるみ病院プロジェクト
- ・鹿児島在住外国人への歯科検診ボランティアプロジェクト
- ・ウミガメ保全調査活動への関心を高めるための写真展

〈地方創生活動部門〉

- ・錦江町子ども未来作りプロジェクト
- ・こんなところに口腔がん！？～世界一受けたいがん検診～
- ・三島村を国際観光拠点に！一鹿大生による魅力発掘と多言語発信
- ・喜入中名の空き家を活用した地域住民と学生による地域活性化プログラム
- ・夏休み自由研究お助け隊！～ウミガメと吹上浜のなかまたち～

※令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により中止。

3. 応募資格・条件等

■応募資格

本学の学部学生及び大学院生で、3名以上のグループとします。
また、学生が主体であれば教職員と連携して応募することも可能です。

■応募条件

- ①卒業論文、卒業研究で取り組む内容のものは含みません。
- ②実施期間内に終了できる単年度企画とします。ただし、複数年を要する企画の継続申請も可能とします（継続理由を明記すること）が、次年度の予算を確約するものではありません。
- ③「地方創生活動部門」については、課題解決に向け、自治体等と協働して活動する企画とします。
- ④物品、施設等については、貸与（借用）を原則とします。（次項を参照）

■貸与可能物品（備品）の取扱い

貸与可能物品（備品）は、ノートパソコン(5台)、ビデオカメラ(5台)、デジタルカメラ(4台)、カメラ用三脚(4脚)、レーザーポインター(1個)、浴衣(10枚)。

大学の貸与物品以外の備品を購入した場合は、プログラム終了後速やかに大学に返却していただきます。

※備品とは、耐用年数が1年以上で、かつ、取得価額が概ね1万円以上の物品とします。

■支援予定額

1件につき上限20万円

■購入できないもの

上記の貸与可能物品（備品）、トロフィー、楯、金券・図書券等換金性の高いもの、お土産代、謝礼金、謝礼品、飲食代、使い切りとならない回数券、自家用車のガソリン

4. 応募方法

所定の様式による企画書及び必要経費内訳書に必要事項を記入の上、6月16日（水）から7月6日（火）17時までに、〈一般部門〉については学生生活課、〈地方創生活動部門〉については社会連携課にデータで提出してください（提出した旨を電話で提出先に連絡すること）。（様式は本学ホームページからダウンロード可）。

5. 審査方法

- ①審査委員会を組織し、書類審査及びプレゼンテーションによる審査を行います。
- ②審査結果は、企画書に記載のメールアドレスに通知します。

6. 成果発表

本プログラムの成果は、成果発表会（オンラインを予定）において報告し、優秀なプログラムは「表彰」を行います。

7. 新型コロナウイルス感染症に関する注意事項

- ①新型コロナウイルスの影響により活動内容を制限することがありますので、了解ください。制限時の代替案も含めて企画を行ってください。
- ②プログラム実施については、本学ホームページに掲載されている新型コロナウイルス感染拡大防止に係る各種通知に従って活動してください。

【新型コロナウイルス感染症に関する本学の対応】

・ <https://www.kagoshima-u.ac.jp/important/kuspecialsiteforcovid19.html>

(特に留意すべき通知)

- ・ 4月以降のサークル活動について (第10報)

https://www.kagoshima-u.ac.jp/important/210405_circl_10hou.pdf

- ・ 4月8日以降のサークル活動について (お願い)

https://www.kagoshima-u.ac.jp/important/210405_circl_gakuseiseikatsu.pdf

※状況により更新されますので、最新の対応について随時ご確認ください。

- ③学生同士又は他機関・他団体等の学外者との打合せは、原則、オンラインで行い、対面で実施する場合は感染予防対策を十分行ってください。
- ④上記③の対面での打合せを含めた「地域に向いて行う活動」については、活動日2週間前までに「新型コロナウイルス感染状況下における活動計画書」及び「参加者名簿」を「9. 問い合わせ先」の各担当者へ提出して許可を得てください。
- ⑤今後の感染拡大状況によっては、プログラムを中断又は中止することがあります。

8. スケジュール(令和3年度)

◆応募受付期間	6月16日(水) ~ 7月6日(火)
◆審査期間	7月7日(水) ~ 7月27日(火)
◆結果発表	7月下旬(予定)
◆プログラム実施期間	採択後 ~ 翌年1月末日
◆成果発表会	翌年2月下旬(オンラインを予定)

9. 問い合わせ先

〈一般部門〉 学生部 学生生活課 学生企画係 (共通教育棟1号館 1階)

主任 玉利 TEL 099-285-7320

Mail: gakusen@kuas.kagoshima-u.ac.jp

〈地方創生活動部門〉 研究推進部 社会連携課 産学・地域連携係 (南九州・南西諸島域共創機構棟 1 2階)

専門職員 鮫島 TEL 099-285-7104

Mail: screnkei@kuas.kagoshima-u.ac.jp